

538025

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19)世界知的所有権機関
国際事務局(43)国際公開日
2004年6月24日 (24.06.2004)

PCT

(10)国際公開番号
WO 2004/053758 A1(51)国際特許分類⁷:

G06F 17/60

(81)指定国(国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, OM, PH, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SK, SL, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(21)国際出願番号:

PCT/JP2002/012872

(22)国際出願日: 2002年12月9日 (09.12.2002)

(25)国際出願の言語:

日本語

(26)国際公開の言語:

日本語

(71)出願人(米国を除く全ての指定国について): 松下電器産業株式会社 (MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.) [JP/JP]; 〒571-8501 大阪府門真市大字門真 1006番地 Osaka (JP).

(72)発明者; および

(75)発明者/出願人(米国についてのみ): 酒井 啓行 (SAKAI, Hiroyuki) [JP/JP]; 〒194-0004 東京都町田市鶴間 1480-6-104 Tokyo (JP).

(74)代理人: 東島 隆治 (HIGASHIMA, Takaharu); 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3丁目2-14 大弘ビル 東島特許事務所 Osaka (JP).

(84)指定国(広域): ARIPO特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, SI, SK, TR), OAPI特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

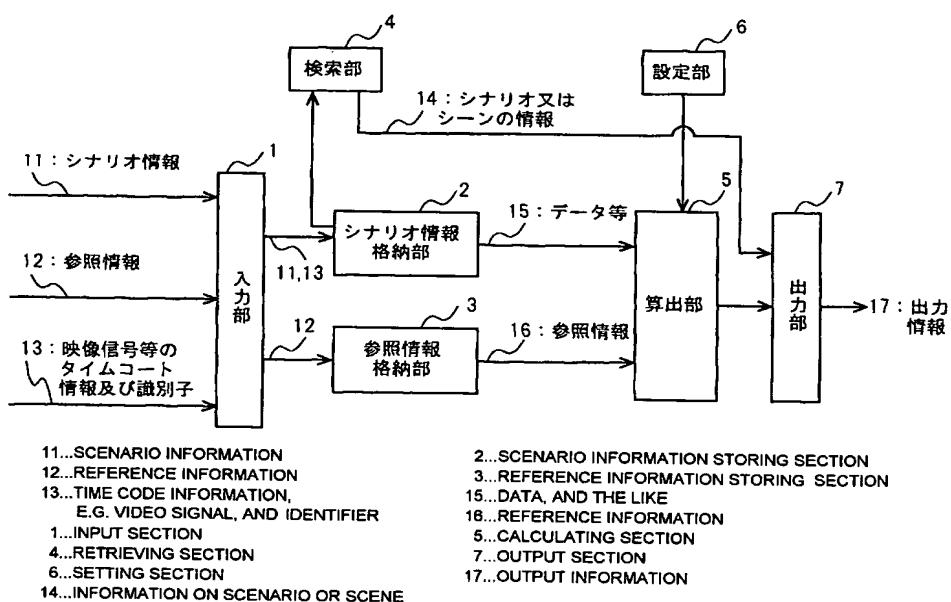
添付公開書類:

- 国際調査報告書
- 補正書・説明書

(統葉有)

(54) Title: SCENARIO INFORMATION ANALYZER AND SCENARIO INFORMATION ANALYZING METHOD

(54)発明の名称: シナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法



WO 2004/053758 A1

(57) Abstract: A scenario information analyzer and a scenario information analyzing method for automatically calculating and outputting appropriate output information, e.g. a photographing schedule. The scenario information analyzer comprises a section for storing scenario information sectioned for respective scenes, a section for storing reference information concerning the data contained in the scenario information, a section for extracting the data from the scenario information and calculating output information based on the extracted data and the reference information, and a section for outputting the output information.

(統葉有)



2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約:

適切な撮影スケジュール等の出力情報を自動的に算出し、出力するシナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法を提供する。本発明のシナリオ情報解析装置は、シーン毎に区分されたシナリオ情報を格納するシナリオ情報格納部と、シナリオ情報に含まれるデータに関する参照情報を格納する参照情報格納部と、シナリオ情報からデータを抽出し、抽出されたデータ及び参照情報に基づいて、出力情報を算出する算出部と、出力情報を出力する出力部と、を具備する。

明細書

シナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法

技術分野

本発明は、シナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法に関する。

背景技術

劇場用映画、テレビ放送用ドラマ等の製作に当たってはシナリオ（「シナリオ情報」という。）が書かれる。俳優はシナリオに従って演技し、監督はシナリオに従って演出を行う。シナリオはシーン毎に区分されている。生で演じられる舞台等においてはシナリオのシーンの順番通りに演じられるが、最終的に映像情報として完成される映画及びテレビドラマ等においては、シナリオのシーンの順番通りに撮影をすることは稀である。各シーンはそれぞれ最適な日時と順番で撮影される。撮影された各シーンの映像情報及び音声情報（素材）はフィルム編集又は電子編集により加工され、つなぎ変えられて、完成された映画又はドラマ等（カンパケ）が完成される。

従来、シナリオの各シーンの撮影を何日にどのような順番で行うかは、ベテランが勘を頼りに決定していた。しかし、シナリオの各シーンの撮影に影響を与える要素は極めて多いため、勘を頼りに最適の日程を立案するこ

とは困難であった。

ドラマの各出演者（キャスト）、各スタッフ（監督、カメラマン等）は、このドラマ以外にも仕事を抱えている。ドラマの各シーンの撮影スケジュールを決定するに当たっては、キャスト及びスタッフのそれぞれのこのドラマ以外の日程を考慮しなければならない。

ドラマの各シーンの撮影においては、カメラ、VTR等の撮影機材、大小の道具等を手配して準備しておく必要がある。撮影場所（ロケ又はスタジオ）の予約も忘れてはいけない。

撮影スケジュールが最適であれば撮影は早く終了し、撮影に要する費用も安く済む。撮影スケジュールが悪ければ、撮影は遅れ、撮影に要する費用も高くつく。

撮影されたフィルム又はビデオテープの編集作業は、監督等がシナリオを見ながら行うが、監督が手作業でシーンの接続順を決定していた。

従来は、映画、ドラマ等の製作等において、コンピュータを用いた作業の合理化は、編集工程以降の工程のみに限られていた。シナリオに基づいて撮影を行う撮影工程においては、勘と経験に基づいて作業が進められていた。

本発明は、シナリオに含まれるデータ及びそのデータに関係付けられた参照情報に基づいて、適切な撮影スケジュール等の出力情報を自動的に算出し、出力するシナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法を提供する

ことを目的とする。

発明の開示

上記の課題を解決するため、本発明は下記の構成を有する。

本発明のひとつの観点によるシナリオ情報解析装置は、シーン毎に区分されたシナリオ情報を格納するシナリオ情報格納部と、前記シナリオ情報に含まれるデータに関する参照情報を格納する参照情報格納部と、前記シナリオ情報から前記データを抽出し、抽出された前記データ及び前記参照情報に基づいて、出力情報を算出する算出部と、前記出力情報を出力する出力部と、を具備することを特徴とする。

本発明は、シナリオに含まれるデータ及びそのデータに関係付けられた参照情報に基づいて、適切な撮影スケジュール等の出力情報を自動的に算出し、出力するシナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法を実現出来るという作用を有する。

例えば、シーン毎に生成された、撮影時間データ、撮影場所データ、キャスト・スタッフデータ、使用機材・道具データ、エキストラデータ、業者データ等のデータと、これらのデータに関連付けられた各キャスト・スタッフのスケジュール、各キャスト・スタッフの単価、各撮影場所の使用スケジュール、各場所の使用単価、各場所へのアクセス情報、各機材・道具の使用スケジュール、

各機材・道具の使用単価、各機材・道具若しくはエキストラの提供業者情報、エキストラの動員可能人数、エキストラの単価、予算情報、及び期限情報等の参照情報とに基づいて、撮影スケジュール、撮影コスト、機材・道具リスト、業者リスト等の出力情報を生成する。

これにより、例えば撮影スケジュールの立案時間を削減することができ、出力された撮影スケジュールに従って撮影を行うことにより、早く撮影を完了することが出来る。撮影費用も安く済む。

発明の新規な特徴は添付の請求の範囲に特に記載したものに他ならないが、構成及び内容の双方に関して本発明は、他の目的や特徴と共に、図面と共同して理解されるところの以下の詳細な説明から、より良く理解され評価されるであろう。

図面の簡単な説明

図1は、本発明の実施例のシナリオ情報解析装置の構成を示すブロック図である。

図2は、本発明の実施例のシナリオ情報解析方法のフローチャートである。

図3は、本発明の実施例のシナリオ情報解析装置に入力するシナリオ情報の一例である。

図4は、本発明の実施例の参照情報の一例である。

図5は、本発明の実施例の参照情報の他の一例である。

図6は、本発明の実施例の出力情報である撮影スケジ

ユールの一例である。

図7は、本発明の実施例の出力情報である機材・道具のリストの一例である。

図8は、本発明の実施例の出力情報であるプロジェクトコストの一例である。

図9は、本発明の実施例の出力情報である撮影コストの一例である。

図10は、本発明の実施例の出力情報である編集リストの一例である。

図面の一部又は全部は、図示を目的とした概要的表現により描かれており、必ずしもそこに示された要素の実際の相対的大きさや位置を忠実に描写しているとは限らないことは考慮願いたい。

発明を実施するための最良の形態

以下本発明の実施をするための最良の形態を具体的に示した実施例について、図面とともに記載する。

《実施例》

図1～10を用いて、本発明の実施例のシナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法を説明する。

図1は、本発明の実施例のシナリオ情報解析装置の構成を示すブロック図である。1は入力部、2はシナリオ情報格納部、3は参照情報格納部、4は検索部、5は算出部、6は設定部、7は出力部である。本発明の実施例

のシナリオ情報解析装置は、典型的にはパソコン用コンピュータに本発明のシナリオ情報解析方法のプログラムをロードしたものである。

入力部1は、シーン毎に区分されたシナリオ情報11、シナリオ情報に含まれるデータに関する参照情報12（実施例においてはコンピュータにより任意に情報を利用出来るデータベースである。）、並びに撮影された映像信号等のタイムコード情報及び識別子13を入力する。シナリオ情報格納部2は、入力部1から伝送されたシナリオ情報11、並びに映像信号等のタイムコード情報及び識別子13を入力して格納する。参照情報格納部3は、入力部1から伝送された参照情報12を入力して格納する。「格納すること」は、記憶することを含む。

算出部5は、シナリオ情報格納部2に格納されたシナリオ情報11から抽出したデータ等15を入力し、参照情報格納部3から抽出されたデータに関連付けられた参照情報16を読み出す。算出部5は、データ及びデータに関連付けられた参照情報に基づいて出力情報を算出する。出力部7は出力情報17を出力する。

検索部4及び設定部6については後述する。

図3は、実施例のシナリオ情報解析装置に入力するシナリオ情報の一例を示す。図3において、シナリオ情報はシーン毎に生成されている。

実施例のシナリオ情報は、識別情報を含んでいる。実施例の識別情報は、<STAFF>、</STAFF>

等の記述子である。実施例においては、記述子は<>及び</>のセットで表示され、又は<>のみで表示されている。<>及び</>のセットで表示される記述子は、その間に挟まれた言葉を1個又は複数のデータとして特定する。その間に複数のデータを挟む場合は、データとデータの区切りは「，」で表示される。<>の中の表示は、記述子が特定するデータの種類を表す。

<SCENE>、</SCENE>は、各シーンの撮影場所データを示すと共に、各シーンの先頭位置を特定する。従って、各シーンの先頭は<SCENE>、</SCENE>のある行であり、各シーンの末尾は、次のシーンの先頭にある<SCENE>、</SCENE>のある行の直前までである。

例えば、<CAST>と</CAST>とで挟まれたデータはキャストデータであり、各データは「老人」等の登場人物の役名で表示されている。<STAFF>と</STAFF>とで挟まれたデータはスタッフデータであり、各データは「監督」等の役割名で表示されている。<EQUIP>と</EQUIP>とで挟まれたデータは使用機材・道具データであり、各データは「カメラ」、「花瓶」等の機材・道具名で表示されている。

<TIME>と</TIME>とで挟まれたデータは撮影時間データであり、各データは「2分間」のように時間長で表示される場合と、「5時30分 - 6時30

分」のように始端と終端の時刻間のインターバルで表示される場合とがある。

データは、撮影時間データ、撮影場所データ、キャスト・スタッフデータ、使用機材・道具データ、エキストラデータ、業者データを含む。

エキストラデータとは、例えばエキストラで登場する人物の人数、出演するエキストラの特性データ（例えば子供又は大人、男又は女等のエキストラを特定するデータ）等のデータである。

業者データとは、撮影現場に加わるスタッフ以外の業者のデータであって、例えば衣装・装身具等の提供業者、ドラマで使用する自動車の提供業者等のデータである。

< C U T >は、カットの冒頭を示す記述子である。< P N A M E >はその後に台詞をしゃべる人物名（キャスト）が続くことを示す記述子であり、< W O R D S >はその後に台詞が続くことを示す記述子である。< S D I R E C T >は、その後にト書きが続くことを示す記述子である。

< D E F I N I T I O N >及び</ D E F I N I T I O N >は定義を示す記述子であり、その間に挟まれた1つ又は複数の記述が定義することを示す。その間に複数の記述（定義）を挟む場合は、定義と定義の区切りは「、」で表示される。例えば「山田＝高橋」はシナリオの役名「山田」を俳優高橋が演じることを定義し、「監督＝三島」は監督が三島であることを定義し、「A 島＝

「伊豆P岬」はドラマのA島として伊豆P岬をロケに使用することを定義している。記述子<DEFINITION>及び</DEFINITION>は、シナリオ上の役名・役割等を誰がするのかを決めることにより、データベース上でシナリオ情報（データは役名「山田」・役割「監督」で記載されている。）と各データの参照情報（参照情報は俳優高橋、三島監督等についての情報である。）とをリンクする。

図4は、参照情報格納部3が格納する参照情報のデータベースの一部を例示する。図4において、「分類」のコラムは、参照情報に含まれる情報の分類（キャスト、スタッフ、機材・道具等）を示す。

「役名等」のコラムは実際には参照情報に含まれていないが、シナリオ情報から抽出されたデータ（「役名等」のコラム）と、参照情報の情報（「俳優等」のコラム）との対応を分かり易くするために記載している。

「役名等」のコラムと「俳優等」のコラムとは、記述子<DEFINITION>及び</DEFINITION>での定義により、図4で示す関係で相互に対応付けられている。

「俳優等」のコラムは、シナリオの各シーンの撮影に参加する人物及び各シーンの撮影に使用される機材・道具を具体的に示す。

「所属」、「5月18日」、「5月19日」、...
「単価」、「条件」、「優先情報」の各コラムは、「俳

優等」のコラムの各行に記載された要素に関する参照情報である。「所属」のコラムは各キャスト、スタッフが所属する組織であり、各機材・道具の所有者（レンタル業者等の供給源）である。「5月18日」、「5月19日」のコラムは、各キャスト、スタッフ、機材・道具がその日に撮影に参加可能であるか（撮影で使用可能であるか）否かを示す。「○」の表示は各キャスト等が全日撮影に参加可能である（全日撮影で使用可能である）ことを示し、「×」の表示は各キャスト等が撮影に参加出来ない（撮影で使用出来ない）ことを示す。「PM4-」は午後4時から撮影に参加可能であることを示す。

「単価」及び「条件」のコラムは、それぞれの条件で単価（人件費、レンタル料等）が幾らであるかを示す。例えば俳優高橋には、撮影に参加する日数にかかわらず撮影の開始から終了までの出演に対して（「all」と表示）500万円を支払う。例えば「老人」役の俳優田所には、撮影に1日参加する毎に（「day」と表示）2万円を支払う。

優先情報のコラムについては後述する。

図5は、参照情報格納部3が格納する参照情報のデータベースの他の一部（撮影場所データ）を例示する。図5において、「シナリオ」のコラムは実際には参照情報に含まれていないが、シナリオ情報から抽出された各シーンの撮影場所データ（「シナリオ」のコラム）と、参照情報に含まれる撮影場所データ（「撮影場所」のコラ

ム）との対応を分かり易くするために記載している。シナリオ情報に記載されている場所は多くの場合架空の場所であり、たとえシナリオ情報に記載された場所が実在の場所であっても撮影に使用される場所がその場所であるとは限らない。そこで、シナリオ情報から抽出された各シーンの撮影場所データ（「シナリオ」のコラム）と、参照情報に含まれる撮影場所データ（「撮影場所」のコラム）との対応付けをする必要がある。実施例において、「シナリオ」のコラムと「撮影場所」のコラムとは、記述子<DEFINITION>及び</DEFINITION>での定義（例えば「A島＝伊豆P岬」）により、図5で示す関係で相互に対応付けられている。

「5月18日」、「5月19日」、・・・「単価」、「条件」の各コラムは、「撮影場所」のコラムの各行に記載された要素に関する参照情報である。「5月18日」、「5月19日」のコラムは、その撮影場所がその日に撮影に参加可能であるか（撮影で使用可能であるか）否かを示す。「○」の表示はその撮影場所が全日撮影に使用できることを示し、「×」の表示はその撮影場所が撮影に使用出来ないことを示す。

「単価」及び「条件」のコラムは、それぞれの条件で撮影場所を使用する単価が幾らであるかを示す。例えばYスタジオを使用すると、1日当たり（「day」と表示）5万円を支払う。

撮影場所の参照情報として、その場所へのアクセス情

報を含むことも出来る。「アクセス情報」は、その場所に行くことに関する情報であって、例えばシナリオ情報解析装置を使用するプロダクションの所在地から撮影場所への移動時間、撮影場所へ行く交通費、撮影場所で宿泊することが必要であれば宿泊費等を含む。例えば都内のスタジオには1時間で行くことが出来るが、伊豆のP岬に行くには車で5時間かかる。撮影スケジュールを生成する上で、場所の移動時間に関する情報を考慮することが重要である。遠い伊豆のP岬での撮影を出来るだけまとめて実施することにより製作コストを削減することも出来る。

参照情報には、撮影の期限情報（例えば2001年5月31日）、撮影の予算（実施例においては1400万円である。）を含むことが出来る。

参照情報は、各キャスト・スタッフのスケジュール、各キャスト・スタッフの単価、各撮影場所の使用スケジュール、各場所の使用単価、各場所へのアクセス情報、各機材・道具の使用スケジュール、各機材・道具の使用単価、各機材・道具若しくはエキストラの提供業者情報、エキストラの動員可能人数、エキストラの単価、予算情報、及び期限情報を含むことが出来る。

「エキストラの提供業者情報」とは、エキストラを提供する業者に関する情報であって、例えばM社（エキストラを提供する業者）は関東での撮影であればエキストラを動員出来るが、それ以外の地域での撮影ではエキス

ト ラを動員できないという情報、N社（エキストラを提供する業者）は、エキストラの動員日より3日以上前に依頼しなければエキストラを提供できないという情報等である。

「エキストラの動員可能人数」とはM社が提供できる子供のエキストラの最大数が120人であるという情報、又はN社が提供できる馬に乗ることが出来るエキストラの最大数が20人であるという情報等である。

「エキストラの単価」とは、エキストラを動員したときにそのエキストラ又はエキストラの提供業者に支払う1日当たりの単価又は1時間当たりの単価等である。例えば、子供のエキストラを動員すると、その単価が1日当たり5000円であるという情報等である。

算出部5は、シナリオ情報から抽出したデータについて、参照情報16の条件を満たす出力情報17を生成する。図6～10は、算出部5が生成した出力情報を例示する。

図6は、出力情報17のひとつである撮影スケジュールを図示する。図6(a)は全体スケジュールを示す。各撮影日について、撮影するシーン番号（「シーン」のコラム）、参加するキャスト（「キャスト」のコラム）、参加するスタッフ（「スタッフ」のコラム）、撮影を行う撮影場所（「ロケ／スタジオ」のコラム）を表示する。

(b)は、撮影日の詳細撮影スケジュール（香盤表）を示す。スタッフについては(b)の表に記載されてい

ないが、その日の撮影に参加するスタッフは集合から撤収までの全て期間、撮影に参加する。

算出部5は、各キャスト、各スタッフ、各機材・道具、各撮影場所の個々のスケジュールを考慮した（個々のスケジュールと矛盾しない）撮影スケジュールを生成する。算出部5は、効率的に撮影を行って撮影期限前に撮影を完了する様に、例えば同一場所のシーンの撮影をまとめて実施するようなスケジュールを生成する。このことは、例えば伊豆P岬のような遠隔地でのロケにおける交通費、宿泊代を削減する効果もある。

例えば、各シーンの時間は20秒、2分等の長さであるが、実際には撮影準備の時間が必要であるので、撮影場所を移動する場合は、移動時間（各場所へのアクセス情報）及び撮影準備時間（例えば3時間）を考慮してスケジュールを生成する。

算出部5は、任意の参照情報に基づいて撮影スケジュール等を生成することが出来るが、例えばシーン毎の、撮影時間データ、撮影場所データ、キャスト・スタッフデータ、使用機材データに関係付けられた参照情報（例えばキャスト・スタッフの個別スケジュール、使用機材の使用スケジュール、撮影場所へのアクセス情報（例えば移動に要する時間等））に基づいて撮影スケジュールを生成する。

算出部5は、例えばシーン毎の、撮影時間データ、撮影場所データ、キャスト・スタッフデータ、使用機材デ

ータに関係付けられた参照情報（例えばキャスト・スタッフの個別コスト情報、使用機材の使用コスト情報、撮影場所へのアクセス情報（例えば交通費、宿泊代等））に基づいて撮影コスト情報を生成する。

図7は、出力情報17のひとつである各撮影日に準備する機材・道具のリストの一例である。スタッフは、この表に従って機材・道具を手配することにより、機材等の手配漏れを防ぐことが出来る。撮影スケジュールを変更すると手配すべき機材・道具も変わって、手配ミスも生じやすい。算出部5が図7の表を自動的に生成する故に、撮影中の事情による日程変更も容易になる。

操作者は、撮影期間の途中で設定部6（図1）を通じて撮影実績（実際に撮影した日程）を入力することにより、未撮影のシーンについての最適な撮影スケジュールを立て直すことも出来る。算出部5の出力情報である撮影スケジュールの一部を一定値（実績の日程）に設定することにより、撮影実績を入力する。未撮影のシーンとは、撮影スケジュールの中で撮影実績が入力されなかつた部分を意味する。

図4の優先情報のコラムは、撮影スケジュール等の決定におけるデータの優先順位を規定する。もしシナリオ情報解析装置が全ての条件を満たす撮影スケジュールを生成することが出来なければ、シナリオ情報解析装置は優先情報が付加されていない行（図4においては俳優高橋と三島監督以外）の参照条件の一部を無視して撮影ス

ケジュールを生成する。それでも優先情報が付加された行の参照情報を満たす撮影スケジュールを生成することが出来なければ、シナリオ情報解析装置は、大きな値の優先情報が付加された行（図4においては「2」が記載された俳優高橋）の参照条件の一部を無視して撮影スケジュールを生成する。これにより、全ての参照条件を満たす撮影スケジュール等を生成できない場合には、優先情報により重要視する情報とそうでない情報とを区別して次善の撮影スケジュールを生成することが出来る。

好ましくは算出部5は、無視した条件（生成した撮影スケジュールと、キャスト等の個々のスケジュールとの競合部分）の一覧表を出力する。これにより、誰のどの日程を調整する必要があるのかを知ることが出来る。

操作者は、設定部6を通じて優先情報を入力することが出来る。

図8、図9は、それぞれ算出部5が生成する出力情報であるプロジェクトコスト、撮影コスト（撮影コストは、プロジェクトコストの一部である。）の表の一例である。算出部5は、上記シナリオに基づいて、撮影コスト等及び各部のコストの合計であるプロジェクトコストを算出する。算出部5は、撮影コスト等が予算（参照情報に含まれる。）に収まる様にコスト計画を立てる。

操作者は設定部6（図1に示す）を通じて、撮影期間の途中での（又は撮影完了後の）予算の実績を算出部5に入力することが出来る。算出部は、図8、図9に示す

ように予算と共に、現在の支出の実績、予算と実績の差異を表示する。

出力情報は、撮影スケジュール、撮影コスト、機材・道具リスト、業者リストを含む。

例えば自動車メーカーがドラマのスポンサーになった場合、ドラマの中で当該自動車メーカーが販売する自動車を使用することが求められる。操作者は、設定部6を通じて使用する道具の一部である自動車を当該自動車メーカーの製品に設定することにより、スポンサーの要求を撮影に盛り込むことが出来る。

算出部5が複数のシナリオについて撮影スケジュールを生成する場合がある。操作者が設定部6を通じてどのシナリオ情報の撮影スケジュールを優先するかという優先情報を入力することにより、算出部5は、優先情報に基づいて優先度が高いシナリオから順番に前記出力情報を算出する。

操作者は、検索部4に検索情報を入力することが出来る。検索部4は、シナリオ情報格納部2に格納された多くのシナリオ情報の中から、入力された検索情報と同一の情報を含むシナリオ又はシナリオのシーンを検索し、検索したシナリオ又はシナリオのシーンの情報を出力する。シナリオ情報解析装置は、当該シナリオ又はシナリオのシーンの情報を出力する。

例えば撮影から5年後にドラマの1シーンをテレビで放映した場合、当該シーンの識別番号（5年後に放映さ

れた時にも、そのシーンの映像信号に識別番号が付加されているものとする。) を検索情報として電子倉庫内のシナリオ情報を検索することにより、そのシーンがどのシナリオのどのシーンかを検索することが出来る。これにより、そのシーンの著作権を誰が持っているかを容易に知ることが出来る。そこに登場している俳優が誰であるかを容易に知ることが出来る。俳優の名前を検索情報として電子倉庫内のシナリオ情報を検索することにより、当該俳優が登場するシーンを抽出することが出来る。これにより、例えば当該俳優のデビュー 10 年の記念番組の製作が容易になる。

シナリオ情報格納部 2 が電子倉庫のような大規模なアーカイブである場合、手作業での検索は極めて困難である故に、本発明のシナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法は特に有効である。

図 10 は、算出部 5 が出力する出力情報のひとつである編集リストの一例を図示する。シナリオ情報の各シーン(実施例においてはシーン 1 ~ 25)にはシーン識別番号が付与されている。シーン識別番号は、シーン毎に固有の識別子であって、実施例においては 5 桁の数字で表される。

撮影時には、撮影したビデオテープ(素材)のそれぞれにカセット番号(カセット番号は任意の値である。)とシーン識別番号と同一の値である素材識別番号を付与する。ひとつのシーンに対して複数のビデオを撮った場

合は、それぞれのビデオに、シーン識別番号と同一の値にハイフン及び異なる番号を付与した素材識別番号を付与する。

算出部5は、シーン1から順番に素材識別番号を並べ、編集リストを生成する。編集リストは、シーン順に並べられた素材識別番号及びカセット番号の他、タイムコード、時間長及びラップタイムを含む。例えばタイムコード13:57:16:18-13:59:32:27の、13:57:16:18(13時57分16秒18フレーム)は、撮影されたそのシーンのビデオの先端の映像信号に対応付けられたタイムコードを示し、13:59:32:27は終端の映像信号に対応付けられたタイムコードを示す。

「時間長」は、当該シーン毎のビデオの時間長を示す。時間長は、終端のタイムコードから先端のタイムコードを差し引くことにより導出される。「ラップタイム」は、各シーンの時間長を累積した時間長を示す。例えば、図10において、算出部5が出力した編集リストに従って映像信号を生成した場合、ドラマの長さは35分16秒23フレームであることが分かる。これより、編集者(例えば監督)は、素材からどの程度長さを切り詰めることにより適切な長さのカンパケを作れるかを知ることが出来る。

当該編集リストをたたき台として、編集者は編集を進めることが出来る。

同一シーンについて複数の素材がある場合は、編集者は、例えば素材識別番号 25869-1 が付与されたビデオと、素材識別番号 25869-2 が付与された他のビデオの中からひとつのビデオを任意に選択し、当該選択指令を設定部 6 に入力する。算出部 5 は、当該選択されたビデオを含む編集リストを生成する。

図 2 は、本発明の実施例のシナリオ情報解析方法のフローチャートを示す。最初に、シナリオ情報からデータを抽出する（ステップ 21）。次に抽出された各データに関する参照情報を読み出す（ステップ 22）。次に、各データ及び参照情報に基づいて撮影スケジュール、撮影コスト等の出力情報を算出する（ステップ 23）。次に、出力情報を出力する（ステップ 24）。出力方法として、紙にプリントする方法、ディスプレイ上に画面表示する方法等がある。

本発明のシナリオ情報解析方法のフローチャートを実行するプログラムを、シーン毎に区分されたシナリオ情報と参照情報とを格納部（例えばハードディスク装置）に格納するコンピュータにロードすることにより、当該コンピュータを本発明のシナリオ情報解析装置として機能させることが出来る。

本発明によれば、シナリオに含まれるデータ及びそのデータに関係付けられた参照情報に基づいて、適切な撮影スケジュール等の出力情報を自動的に算出し、出力するシナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法を実

現出来るという効果が得られる。

これにより、例えば撮影スケジュールの立案時間を削減することができ、出力された撮影スケジュールに従って撮影を行うことにより、早く撮影を完了することが出来る。撮影費用も安くて済む。

参照情報に優先情報を付加することにより、例えば日程変更が困難で個人スケジュール上のブランク期間が少ない人気俳優（優先度が高い）の、僅かなブランク期間（ブランク期間は参照情報に含まれる。）を利用して撮影を行う撮影スケジュールを生成することが出来る。この場合、例えば一般のスタッフ（優先度が低い）のスケジュール（参照情報に含まれる。）を一部無視することも出来る。一般のスタッフのスケジュールの一部を無視した場合は、無視した部分（スタッフの個人スケジュールと撮影スケジュールとが競合する部分）のリストを出力し、競合部分の調整を行う必要があることについて、注意を喚起することが好ましい。

例えば自動車メーカーがドラマのスポンサーになる場合は、ドラマに登場する車は全て当該自動車メーカーの製品であることが好ましい。この場合、参照情報（データベースの形式で登録されていることが好ましい。）の中には複数の自動車メーカーの自動車が登録されていても（任意の自動車を撮影に用いることが出来る。）、当該スポンサーの自動車メーカーの製品にデータを固定する。

最初にスケジュールを決定した後、撮影を開始すると、撮影スケジュール、撮影コスト等の実績が計上される。当該スポンサーの自動車メーカーの製品又は当該実績情報を固定値として設定することにより、当該実績等を前提として改訂された撮影スケジュール等を自動的に生成することが出来る。

優先情報を付加した複数のシナリオを入力することにより、例えばスタジオの使用希望日が競合する場合、優先度の高いシナリオ（例えば他のシナリオよりカンパケの引渡し期限が早いシナリオである。）にその日のスタジオ使用権を与える。これにより、複数のシナリオについて平行して撮影を進めるスタジオ全体の撮影スケジュール等を最適に決定することが出来る。

本発明のシナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法は、シナリオ情報を電子倉庫に格納しておき、検索情報にもとづいてシナリオ情報に含まれる同一の情報を検索することが出来る。例えば撮影から5年後にドラマの1シーンをテレビで放映した場合、当該シーンの識別番号（5年後に放映された時にも、そのシーンの映像信号に識別番号が付加されているものとする。）を検索情報として電子倉庫内のシナリオ情報を検索することにより、そのシーンがどのシナリオのどのシーンかを検索することが出来る。これにより、そのシーンの著作権を誰が持っているかを容易に知ることが出来る。そこに登場している俳優が誰であるかを容易に知ることが出来る。

俳優の名前を検索情報として電子倉庫内のシナリオ情報を検索することにより、当該俳優が登場するシーンを抽出することが出来る。これにより、例えば当該俳優のデビュー10年の記念番組の製作が容易になる。

従来、撮影されたフィルム、ビデオテープ等の素材を監督等が手作業で順番を決め、編集していた。本発明のシナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法は、素材のタイムコード情報等と識別子（シナリオ情報の各シーン毎に定められた固有の情報）とを入力し、シナリオ情報上の各シーンの順番に従って素材を自動的に編集した編集リストを生成し、出力する。これにより編集者（例えば監督）は、シナリオの順番に接続された編集リストをたたき台として編集作業を始めることが出来る。通常編集作業においては、シナリオを基に編集し又はシナリオからどこを変更するかを考えながら編集する。多くの素材が、とりあえずシナリオ順に整理されて提供される故に、見たいシーンを検索するのも容易である。本発明のシナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法により、撮影のみならず、後工程の合理化を実現することも出来る。

発明をある程度の詳細さをもって好適な形態について説明したが、この好適形態の現開示内容は構成の細部において変化してしかるべきものであり、各要素の組合せや順序の変化は請求された発明の範囲及び思想を逸脱することなく実現し得るものである。

産業上の利用可能性

本発明のシナリオ情報解析装置及びシナリオ情報解析方法は、映画、テレビ番組、コマーシャルなど商用フィルム、ラジオ番組等の製作を効率化する上で有用である。

請求の範囲

1. シーン毎に区分されたシナリオ情報を格納するシナリオ情報格納部と、

前記シナリオ情報に含まれるデータに関する参照情報を格納する参照情報格納部と、

前記シナリオ情報から前記データを抽出し、抽出された前記データ及び前記参照情報に基づいて、出力情報を算出する算出部と、

前記出力情報を出力する出力部と、

を具備することを特徴とするシナリオ情報解析装置。

2. 前記データが、シーン毎に生成された、撮影時間データ、撮影場所データ、キャスト・スタッフデータ、使用機材・道具データ、エキストラデータ、業者データの中の少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項1に記載のシナリオ情報解析装置。

3. 前記参照情報が、各キャスト・スタッフのスケジュール、各キャスト・スタッフの単価、各撮影場所の使用スケジュール、各場所の使用単価、各場所へのアクセス情報、各機材・道具の使用スケジュール、各機材・道具の使用単価、各機材・道具若しくはエキストラの提供業者情報、エキストラの動員可能人数、エキストラの単価、予算情報、及び期限情報の中の少なくとも1つを含

むことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のシナリオ情報解析装置。

4. 前記出力情報が、撮影スケジュール、撮影コスト、機材・道具リスト、業者リストの中の少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項1から請求項3のいずれかの請求項に記載のシナリオ情報解析装置。

5. 前記参照情報格納部は、前記参照情報に優先情報を附加して格納し、

前記算出情報は、全ての前記参照情報の要件を満たす出力情報を生成できなければ、抽出された前記データと、前記優先情報に基づいて優先度が低い前記参照情報を除外した前記参照情報とに基づいて、前記出力情報を算出する、

ことを特徴とする請求項1から請求項4のいずれかの請求項に記載のシナリオ情報解析装置。

6. 前記出力情報の一部を一定の値に設定する設定部を更に有し、

前記算出部は、前記シナリオ情報から前記データを抽出し、抽出された前記データ及び前記参照情報に基づいて、一定の値に設定された前記出力情報以外の出力情報を算出する、

ことを特徴とする請求項1から請求項5のいずれかの

請求項に記載のシナリオ情報解析装置。

7. 前記シナリオ情報格納部は、優先情報を付加した複数のシナリオのシナリオ情報を格納し、前記算出部は、前記優先情報に基づいて優先度が高いシナリオから順番に前記出力情報を算出する、

ことを特徴とする請求項1から請求項6のいずれかの請求項に記載のシナリオ情報解析装置。

8. 検索部を更に有し、

前記検索部は、入力された検索情報と同一の情報を含むシナリオ又はシナリオのシーンを前記シナリオ情報格納部から検索し、検索したシナリオ又はシナリオのシーンの情報を出力する、

ことを特徴とする請求項1から請求項7のいずれかの請求項に記載のシナリオ情報解析装置。

9. 前記検索情報が、撮影時間データ、撮影場所データ、キャスト・スタッフデータ、使用機材・道具データ、エキストラデータ、業者データの中の1つ又はこれらを組み合わせた情報であることを特徴とする請求項8に記載のシナリオ情報解析装置。

10. 撮影された各シーンの映像信号若しくは音声信号のタイムコード情報及びそのシーンの識別子を入力す

る入力部を更に有し、

前記シナリオ情報格納部は、各シナリオ情報のシーンに前記識別子を関連付けて格納しており、

前記算出部は、入力した前記タイムコード情報及び前記識別子に基づいて、シナリオのシーンの順番に従って生成した編集リストを生成し、

前記出力部は、前記編集リストを出力する、

ことを特徴とする請求項1から請求項9のいずれかの請求項に記載のシナリオ情報解析装置。

1 1 . 前記算出部は、シナリオ情報に含まれるデータ毎の識別情報を検出し、前記識別情報に基づいて特定された情報をその識別情報に係るデータとして抽出する、ことを特徴とする請求項1から請求項10のいずれかの請求項に記載のシナリオ情報解析装置。

1 2 . シーン毎に区分されたシナリオ情報からデータを抽出する抽出ステップと、

前記データに関する参照情報を参照情報格納部から読み出す読み出しきステップと、

前記データ及び前記参照情報に基づいて、出力情報を算出する算出ステップと、

前記出力情報を出力する出力ステップと、

を具備することを特徴とするシナリオ情報解析方法。

1 3 . シーン毎に区分されたシナリオ情報と参照情報とを格納部に格納するコンピュータをシナリオ情報解析装置として機能させるためのプログラムであって、

前記シナリオ情報からデータを抽出する抽出ステップと、

前記データに関する前記参照情報を格納部から読み出す読み出しステップと、

前記データ及び前記参照情報に基づいて、出力情報を算出する算出ステップと、

前記出力情報を出力する出力ステップと、

を具備することを特徴とするシナリオ情報解析方法のプログラム。

補正書の請求の範囲 [2003年4月11日(11.04.03)国際事務局受理：出願
当初の請求の範囲3—8、10及び11は補正された；他の請求の範囲は変更なし。(4
頁)]

1. シーン毎に区分されたシナリオ情報を格納するシナリオ情報格納部と、

前記シナリオ情報に含まれるデータに関する参照情報を格納する参照情報格納部と、

前記シナリオ情報から前記データを抽出し、抽出された前記データ及び前記参照情報に基づいて、出力情報を算出する算出部と、

前記出力情報を出力する出力部と、

を具備することを特徴とするシナリオ情報解析装置。

2. 前記データが、シーン毎に生成された、撮影時間データ、撮影場所データ、キャスト・スタッフデータ、使用機材・道具データ、エキストラデータ、業者データの中の少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項1に記載のシナリオ情報解析装置。

3. (補正後) 前記参照情報が、各キャスト・スタッフのスケジュール、各キャスト・スタッフの単価、各撮影場所の使用スケジュール、各場所の使用単価、各場所へのアクセス情報、各機材・道具の使用スケジュール、各機材・道具の使用単価、各機材・道具若しくはエキストラの提供業者情報、エキストラの動員可能人数、エキストラの単価、予算情報、及び期限情報の中の少なくと

も 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のシナリオ情報解析装置。

4. (補正後) 前記出力情報が、撮影スケジュール、撮影コスト、機材・道具リスト、業者リストの中の少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のシナリオ情報解析装置。

5. (補正後) 前記参照情報格納部は、前記参照情報に優先情報を附加して格納し、

前記算出情報は、全ての前記参照情報の要件を満たす出力情報を生成できなければ、抽出された前記データと、前記優先情報に基づいて優先度が低い前記参照情報を除外した前記参照情報とに基づいて、前記出力情報を算出する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のシナリオ情報解析装置。

6. (補正後) 前記出力情報の一部を一定の値に設定する設定部を更に有し、

前記算出部は、前記シナリオ情報から前記データを抽出し、抽出された前記データ及び前記参照情報に基づいて、一定の値に設定された前記出力情報以外の出力情報を算出する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のシナリオ情報解析

装 置 。

7. (補正後) 前記シナリオ情報格納部は、優先情報を付加した複数のシナリオのシナリオ情報を格納し、前記算出部は、前記優先情報に基づいて優先度が高いシナリオから順番に前記出力情報を算出する、

ことを特徴とする請求項1に記載のシナリオ情報解析装置。

8. (補正後) 検索部を更に有し、

前記検索部は、入力された検索情報と同一の情報を含むシナリオ又はシナリオのシーンを前記シナリオ情報格納部から検索し、検索したシナリオ又はシナリオのシーンの情報を出力する、

ことを特徴とする請求項1に記載のシナリオ情報解析装置。

9. 前記検索情報が、撮影時間データ、撮影場所データ、キャスト・スタッフデータ、使用機材・道具データ、エキストラデータ、業者データの中の1つ又はこれらを組み合わせた情報であることを特徴とする請求項8に記載のシナリオ情報解析装置。

10. (補正後) 撮影された各シーンの映像信号若しくは音声信号のタイムコード情報及びそのシーンの識別

子を入力する入力部を更に有し、

前記シナリオ情報格納部は、各シナリオ情報のシーンに前記識別子を関連付けて格納しており、

前記算出部は、入力した前記タイムコード情報及び前記識別子に基づいて、シナリオのシーンの順番に従って生成した編集リストを生成し、

前記出力部は、前記編集リストを出力する、

ことを特徴とする請求項1に記載のシナリオ情報解析装置。

1 1 . (補正後) 前記算出部は、シナリオ情報に含まれるデータ毎の識別情報を検出し、前記識別情報に基づいて特定された情報をその識別情報に係るデータとして抽出する、ことを特徴とする請求項1に記載のシナリオ情報解析装置。

1 2 . シーン毎に区分されたシナリオ情報からデータを抽出する抽出ステップと、

前記データに関する参照情報を参照情報格納部から読み出す読み出しステップと、

前記データ及び前記参照情報に基づいて、出力情報を算出する算出ステップと、

前記出力情報を出力する出力ステップと、

を具備することを特徴とするシナリオ情報解析方法。

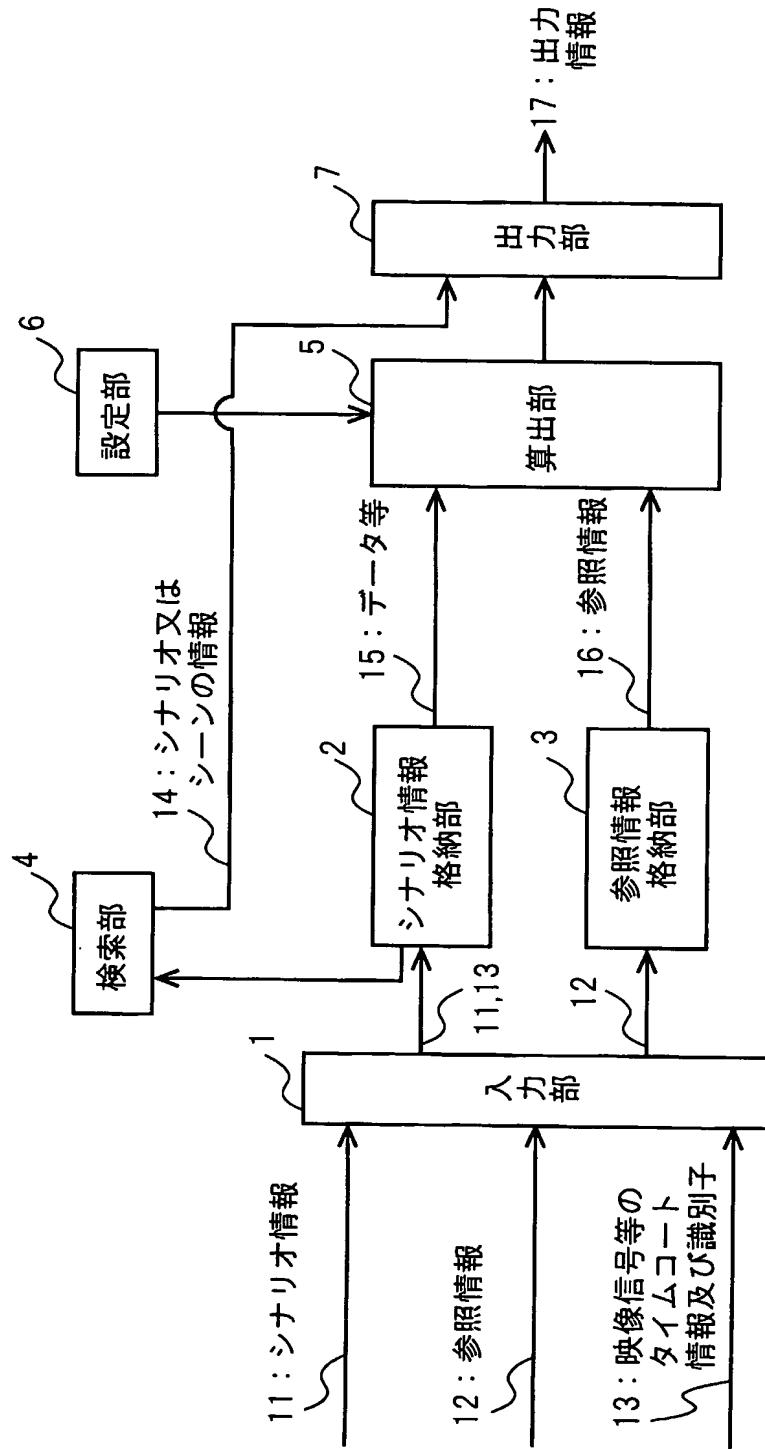
条約 19 条に基づく説明書

請求項 3～8、10、11 を補正しました。本発明は、シナリオ情報から抽出されたデータ及びそれに関する参照情報に基づいて出力情報を算出するシナリオ情報解析装置です。JP2002-32670A（引例 1 と呼ぶ。）に記載されたコンテンツ管理システムは、シナリオに記載されたデータのみに基づくスケジュールを出力しますが、例えば複数の俳優の日程を参照して適応的にスケジュールを作成するインテリジェントな機能を有しません。どのような変更を導入するにもシナリオ自体を変更しなければなりません。本発明は、シナリオに記載されたデータと参照情報とを関連付けることにより、適応的にスケジュールを生成します。シナリオ自体を変更せず、参照情報に記載された俳優の日程を変更すれば、自動的にスケジュールを変更します。引例 1 ではシナリオライタは、シナリオが全てのデータを含むようにシナリオを記述しなければならず、複雑な出力情報を得ようとなれば、プログラマとしてのスキルを要します。引例 1 は実質的に拡張性がありません。本発明においては、データと参照情報とを関連付けることにより、シナリオをより自然言語に近い言語で記載することが出来ます。シナリオライタは、プログラマとしてのスキルを要しません。本発明は拡張性があります。引例 1 は、シナリオが独立に全てのデータを含む故、複数のシナリオの優先順位を判断できませ

ん。引例 1 から請求項 7 に係る発明を実現できません。

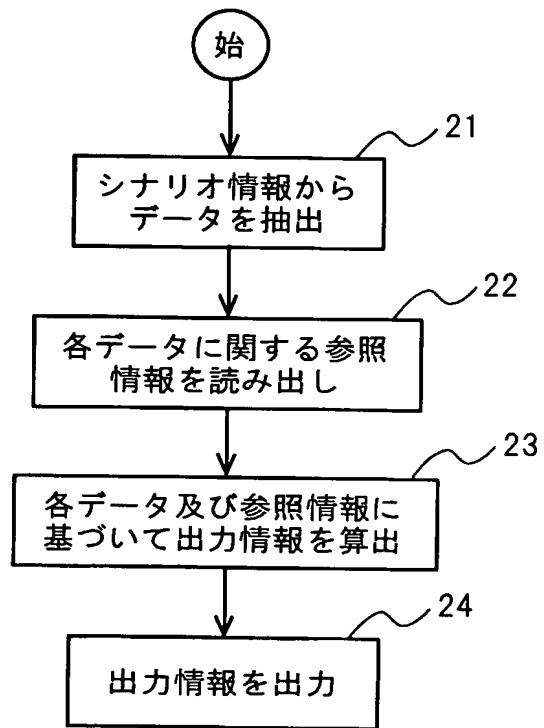
JP2002-215837 及び JP10-111872A には、シナリオからデータを抽出すること及び参照情報という本発明の概念が記載されていません。

図 1



2/10

図 2



3/10

<SCENE> A島 </SCENE>
2000年4月
<STAFF> 監督、カメラマン、音響、撮影
<EQUIP> カメラ、三脚、CCU、電池、
<TIME> 5時30分-6時30分
<CUT> <SDIRECT> 夜明け前の薄明かりの中に孤島・A島
字幕『二〇〇〇年四月 A島 </EQUIP>

<SCENE> どこか解らない場所 (A島の給水所) </SCENE>
<CAST> 謎の人物 </CAST>
<STAFF> 監督, カメラマン, 照明係, V.E., 保温瓶, ドライアイス, 試験管
<EQUIP> カメラ, 三脚, . . . ,
<TIME> 2分間 </TIME>
<CUT> <SDIRECT> 何者かの手が密閉された保温瓶の蓋を開ける。

<SCENE> A島・民家 </SCENE>
<CAST> 老人・嫁 </CAST>
<STAFF> 監督・カメラマン, V.E, 衣裳, メイク, プ, . . .
<EQUIP> カメラ, ランプ, インコ, 鳥籠, コップ, . . .
<TIME> 3分間
<CUT><SDIRECT> 震える老人 「おはよ」の手が、鳥籠の扉を開け、
<WORD> 老人 <PNAME> . . .
<STAFF> </STAFF> . . .
<EQUIP> </EQUIP> . . .

<SCENE> B大学医学部附属A島診療所 </SCENE>
<CAST>
<STAFF>
<EQUIP>
<TIME>
<DEFINITION> 山田=高橋，老人=田所，監督=三島
A島=伊豆P岬 . . . </DEFINITION>

3

4/10

参照情報 (1)

分類	役名等	俳優等	所属	5月18日	5月19日	単価	条件	優先情報
キャスト	山田	高橋	映芸	○	○	5,000,000	all	2
	鈴木	大田	アクトス	×	○	300,000	all	
老人	田所	レプロ	PM4-	○	...	20,000	day	
嫁	浜中	フリー	○	○	...	20,000	day	
若者	木下	フリー	×	○	...	20,000	day	
謎の人物	安井	Nプロ	○	○	...	2,000,000	all	
スタッフ	監督	三島	フリー	○	...	1,500,000	all	1
	カメラマン	井上	エクマ	○	○	70,000	day	
	カメラマン	車山	エクマ	○	...	150,000	all	
照明	関本	リュミ	○	○	...	300,000	all	
照明	江口	リュミ	○	○	0			
:	:	:			
機材 ・道具	カメラ	Aリース	○	○	...	30,000	day	
	クレーン	クレーン	P特機	○	...	100,000	day	
	ジェット	ジェット	石田機	○	...	80,000	day	
:	:	:	
保温瓶	保温瓶	D撮影所	○	○	...	0		
:	:	:	

図4

5/10

図5

参照情報 (2)

シナリオ	撮影場所	5月18日	5月19日	単価	条件
A島	伊豆P岬	○	○	0	
どこか解らない場所 (A島の給水所)	Yスタジオ	○	○	50,000	day
A島・民家	千葉県N町安田家	○	○	10,000	day
	
	
	

(a) 全体スケジュール

日程	シーン	キャスト	スタッフ	ロケ／スタジオ	備考
5月18日	4,6,8,25	高橋, 大田	三島, 井上, …	都内	
5月19日	13,14	安井	三島, 井上, …	Dスタジオ	
:	:	:	:	:	
:	:	:	:	:	

(b) 香盤表

5月18日	シーン	キャスト	ロケ／スタジオ
8:00	集合		新宿西口
9:00	4	高橋, 大田	荻窪
11:00	6	高橋, 大田	吉祥寺
12:00	屋食		
16:00	8	大田	三鷹
18:00	夕食		
20:00	25	高橋	荻窪
22:00	撤収		

6/10

7/10

図7

機材・道具リスト

日程	機材・道具リスト
5月18日	カメラ、レンズ、・・・ 衣装、カバン、・・・
5月19日	カメラ、クレーン、・・・ 自動車、・・・
	・・・
	・・・

8/10

図8

プロジェクトコスト

項目	予算	実績(現在)	予算と実績との差
制作部	2,000,000	150,000	1,850,000
撮影部	2,000,000	1,250,000	750,000
演出部	500,000	300,000	200,000
機材費	1,200,000	800,000	400,000
ロケ費用	300,000	270,000	30,000
出演料	8,000,000	7,950,000	50,000
合計	14,000,000	10,720,000	3,280,000

9/10

図9

担当別コスト

撮影	予算	実績(現在)	予算と実績との差	備考
カメラ	500,000	220,000	280,000	
照明	300,000	300,000	0	FIX
録音	200,000	200,000	0	FIX
記録	200,000	200,000	0	FIX
機材	600,000	180,000	420,000	
メディア	50,000	30,000	20,000	
交通費	150,000	120,000	30,000	
計	2,000,000	1,250,000	750,000	

10/10

編集リスト

シナリオデータ		素材データ			
シーン	シーン識別番号	素材識別番号	カセット番号	タイムコード	時間長
1	25869	25869-1	821	13:57:16:18-13:59:32:27	00:00:35:09
2	38174	38174-2	695	03:18:33:20-03:20:44:08	00:02:10:18
.
.
.
25	81259	81259-1	430	24:11:15:16-24:11:35:21	00:00:20:05
					00:35:16:23

図10

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP02/12872

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
Int.Cl⁷ G06F17/60

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
Int.Cl⁷ G06F17/60

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched
 Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2003
 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2003 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2003

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 2002-32670 A (Oracle Corp. Japan), 31 January, 2002 (31.01.02), Full text; Figs. 1 to 12 (Family: none)	1-9,11-13 10
X Y	JP 2002-215837 A (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 02 August, 2002 (02.08.02), Full text; Figs. 1 to 23 (Family: none)	1-9,11-13 10
Y	JP 10-111872 A (Nippon Telegraph And Telephone Corp.), 28 April, 1998 (28.04.98), Full text; Figs. 1 to 5 (Family: none)	10

Further documents are listed in the continuation of Box C.

See patent family annex.

- * Special categories of cited documents:
- "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
- "E" earlier document but published on or after the international filing date
- "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
- "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
- "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

- "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
- "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
- "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
- "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
27 January, 2003 (27.01.03)

Date of mailing of the international search report
12 February, 2003 (12.02.03)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP02/12872

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2000-101647 A (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 07 April, 2000 (07.04.00), Full text; Figs. 1 to 35 (Family: none)	1-13

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

Int. Cl' G06F17/60

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int. Cl' G06F17/60

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2003年
日本国登録実用新案公報	1994-2003年
日本国実用新案登録公報	1996-2003年

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X Y	JP 2002-32670 A (日本オラクル株式会社) 2002.01.31, 全文, 第1-12図 (ファミリーなし)	1-9, 11-13 10
X Y	JP 2002-215837 A (松下電器産業株式会社) 2002.08.02, 全文, 第1-23図 (ファミリーなし)	1-9, 11-13 10
Y	JP 10-111872 A (日本電信電話株式会社) 1998.04.28, 全文, 第1-5図 (ファミリーなし)	10
A	JP 2000-101647 A (松下電器産業株式会社) 2000.04.07, 全文, 第1-35図 (ファミリーなし)	1-13

 C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献(理由を付す)

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

27.01.03

国際調査報告の発送日

12.02.03

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員)

小山 和俊

5 L 3560



電話番号 03-3581-1101 内線 3560